

【MACF礼拝説教要旨】

2022年10月9日

【必要な一つのもの】

ルカによる福音書10章38節～42節

10:38 一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになった。

すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。

10:39 彼女にはマリアという姉妹がいた。

マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。

10:40 マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、

そばに近寄って言った。

「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、

何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」

10:41 主はお答えになった。

「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。

10:42 しかし、必要なことはただ一つだけである。

マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

この前のお話は「良きサマリア人」というものであり「行動を起こすこと」

「相手が敵のような人だとしても命を大切に取
り扱うことの重要さ」が教えられました。

今回は、「行動すること」に関する別の視点からの指摘が語られています。

マルタとマリアという姉妹がイエスさまを家に迎えました。

マルタは忙しく働き、イエスさまをもてなすこと
で忙しくキリキリ舞い状態になっていまし

た。

その姿勢は素晴らしいものだと思います。

マリアはというとイエスさまの足元に座り、イエスさまから話を聞くことに集中していました。

そこでマルタはこう言います。

10:40 マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、

そばに近寄って言った。

「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、

何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」

「私だけにもてなしをさせている」

「なんともお思いになりませんか」

「手伝ってくれるようにおっしゃってください」

こう言わせている「心」には何が起きているのでしょうか。

マルタは一生懸命だったと思います。

真剣だったとも思います。

でも、その中で、ある種のイライラが見えています。

「私だけにもてなしをさせている」

「なんともお思いになりませんか」

「手伝ってくれるようにおっしゃってください」

これらの言葉の中に

「不本意な重労働」「被害者意識」「比較による批判」

などの心が見えてきます。

一生懸命働いているけれど、やはり、どこかに無理があるのです。

そして、何となくマリアは「空気を読んでいない」感じもします。

イエスさまは、そんなマルタにこう言いました。

「10:41 主はお答えになった。

「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。

10:42 しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

マルタは「自分でしっかり心をイエスさまをもてなす」ことを選び

それに集中していたら、きっと心に満足度が育ったと思います。

でも、彼女は集中するどころか、「多くのことに思い悩み、心を乱している」

とイエスさまは語りました。

実は、この問題は私たちの身近で起こっていることでもあります。

一つのことに集中していれば、それほど深刻にならないものでも、あれこれ心配しすぎると、心が乱れ、不安と憤りや怒りでいっぱいになってしまうことがあるのです。

連鎖的に不安が増大し、自分が被害者のような気分になり、自分だけが

損をしているような気持ちになり、「私はこんなに働いているのに、

あの人は何もしていない、むしろ楽をしている」

「あの人はもっとこうすべきだ、ああすべきだ」という思いがどんどん

拡大し、止められなくなってしまうと惨めな気持ちになっていきます。

マルタは間違いなく「善意」と「愛」でイエス

さまへの「歓待の心」を表明していたはずですが、それが忙しくなり、手が回らなくなっ

てきて、イエスさまのところで話を聞いているマリアを許せなくなったのでしょ

う。そして、その不満をイエスさまに爆発させた形になりました。

つまり、「歓待の心」よりも「憤り」の気持ちが表明されてしまう結果になりました。

イエスさまは

10:42 しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

と語り、マルタにとっては

「イエスさまへの歓待の心を維持することに集中する」ことこそが重要なのだと語られました。

マリアはイエスさまの話聞くことの中に「歓待の心」を表明していました。

ここでイエスさまは

「マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」と

語っているのですが、これはどういうことなのでしょう。

思うに、イエスさまのために「何かをする」ことは大事なことであり

決して、間違っていないのですが、「イエスさまが何を望んでいるのか」

を聞くことで「イエスさまのために何をするのか」明確に判ってくるという

順序も関係しているかもしれません。

マリアはイエスさまから話を聞きました。それ

はイエスさまの心を
知るためであり、イエスさまが何を喜ばれるの
か、何を大切にしているのか
知るためでした。
今回のマリア・マルタの家を訪問した際、イエ
スさまは二人に大切なことを話したかったのか
もしれません。

実は、本当に楽しく充実した「会食」とは美味
しい食事と楽しい対話が揃った時ですね。
「楽しい対話」は食事がなくても可能ですが
「美味しい食事」だけの提供は「味気ない場
合」も起こり得ます。

「何を大切に考えるか」これは個人差がありま
すがゲストにとって何が一番、楽しいことにな
るのか、お互いにとって
楽しいことになるのか、これは心を落ち着かせ
ないとなかなか結論が出てきませんね。

MACF礼拝映像はこちらです
<https://youtu.be/7kvre2Hcha0>